

11 月 16 日：出来高は高い水準を維持するも、VN 指数は反落

大引けにかけて利益確定売りが強まり、VN 指数は反落した。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.69% (10.12 ポイント) 安の 1,466.45 ポイントで取引を終えた。同指数は前日 0.2% 高で引けていた。

大型株の下落はマーケット全体に重しとなった。およそ 3% 下げたホアファットグループ (HPG) は値下がり寄与度でトップとなった。ベトナムゴム工業グループ (GVR) -2.8%、ビンホームズ (VHM) -1.2%、ペトロベトナムガス-1.9% はそれに続いた。本日の VN 指数の下げ幅の半分は、これら 4 銘柄の下落によるものだ。

またベトコムバンク (VCB)、ヴィエティンバンク (CTG)、TP バンク (TPB)、SSI 証券 (SSI)、VN ダイレクト証券 (VND) といった大手金融株も売られた。一部の銘柄は変わらず、または少し上昇して引けた。バオベトホールディングスが 3% 高、軍隊商業銀行 (MBB) +0.2%、サコムバンク (STB) +0.4% はそれぞれ小幅に上昇した。

値上がり銘柄では、物流、輸送関連株が大きく買われた。上昇銘柄数は 30 銘柄を超えた。ハイフォン港 (PHP)、ベトナム航空 (HVN)、ジェマデプト (GMD)、ハイアン輸送荷役 (HAH)、ダナン港 (CDN)、ベトナム海運 (VOS) はそれぞれ 2~7% 上昇した。

出来高は高い水準を維持した。さらに前日と比べ売買高が 12 億株超、売買代金が 34 兆 8,000 億ドン (15 億米ドル) と、それぞれわずかに増加した。

軟調だったホーチミン市場に対して、ハノイ市場の HNX 指数は 1.79% 高の 452.25 ポイントで取引を終えた。同指数は 9 日連続で上昇した。

同指数は 10 月初旬以降、およそ 27% 上昇した。この間 33 営業日のうち下落したのは 3 日のみだった。

しかし出来高は減少した。売買高は前日比で 8.5% 安の約 1 億 9,400 万株、売買代金は 11.7% 安の 4 兆 6,000 億ドンとなった。

外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で買い越した。買い越し金額は 3,070 億ドンとなった。

「ベトナム市場はまちまちな値動きが続いており、利益確定売りの動きが見られる。中小型株の多くは上昇を続けているが、投資家は短期的な売りに注意を払う必要がある」（ベトドラゴン証券（VDSC））

「マーケットでは上昇トレンドが続いているが、上昇の勢いは徐々に弱まっている。私たちは合理的な守りの投資戦略を持ち、注意を払う必要がある」（ベトドラゴン証券のレポートにて同社アナリストの Bao Nguyen 氏）

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。